



カワナビ

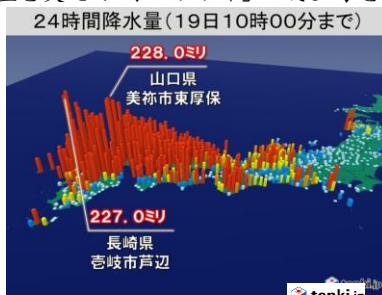
地域によって学校の夏休みの期間は異なります。2学期制の学校と3学期制の学校とで1学期の終業式は異なりますが、みなさんの学校は夏休みに入りましたか？

YACでは、分団活動を通して、みなさんが「今」をしっかりすごし、「明日」をつくることのできる「考える力」の基礎をつくることを願っています。「考える力」の一つが「関係的のものごとを考える力」です。

ランチャーの角度を変えたり、水の量を変えて「水ロケット」の飛び方を考えていますね。

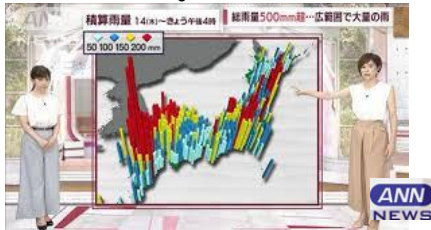
この7月も、天候不順な日が続いています。

7月19日の気象協会webサイト「tenki.jp」の日直予報士の記事には、右のグラフがありました。すごい雨量ですね。



<https://tenki.jp/forecaster/deskpart/2022/07/19/18487.html>

7月20日の「ANNニュース全国の天気」で次のような放送場面がありました。



気象予報士が歯切れよく雨の様子を説明され、進行のアナウンサーが視聴者が理解しやすいようにつないでおられました。日本各地の7月の積算雨量はすごいものです。このようなニュースにふれた

とき、みなさんは、関係する方々の安全・避難等に関すること以外にどんなことを考えますか。避難行動や安全にも大きく関わっていますが、雨を集めて流れている河川はどうなっているのだろうか、関係的に考えていませんか。

国土交通省のwebサイトに、「カワナビ」があります。次のような記事が紹介されています。

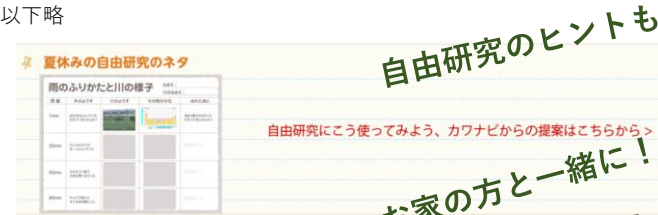
Vol.3.....夏の天気と川の関係

実は！ スマホでゲリラ豪雨の様子が分かる

<https://www.mlit.go.jp/river/kawanavi/observe/vol3.html>

ゲリラ豪雨、その時川はどうなるの？

ゲリラ豪雨のように、狭いところで急にものすごい量の雨が一気に降ったとき、川ではどんなことが起こるのでしょうか。実は、小さな川だと、普段はとても楽しい遊び場である川沿いで、すぐに増水（水の量が増えること）し、とても危険なんです！ 以下略

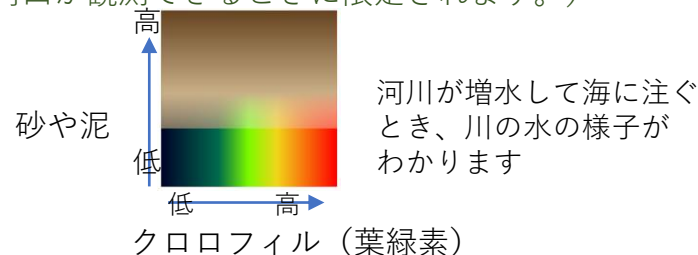


お家の方と一緒に！
リンクが用意してあります



EOブラウザを使って河口を調べカワナビの情報を活かす

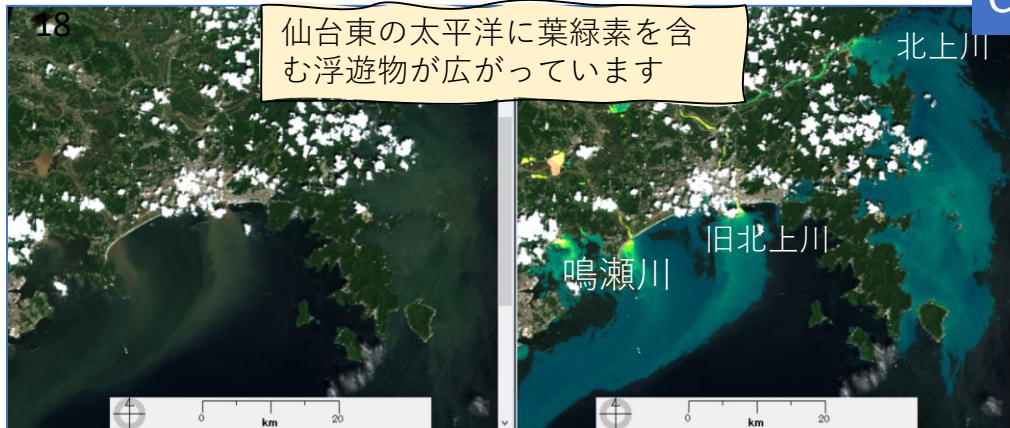
EOブラウザの「Themeテーマ」→「Ocean and Water Bodies海洋・水域」の「Ulyssys Water Quality Viewerユリス水質ビューアRGB」で興味深く調べることができます。7月の各地河川の河口を調べてみましょう。（河口が観測できるときに限定されます。）



河口の様子 (センチネル2)

2022-07- トゥルーカラー ユリシス

C



2022-07-10 トゥルーカラー ユリシス

A

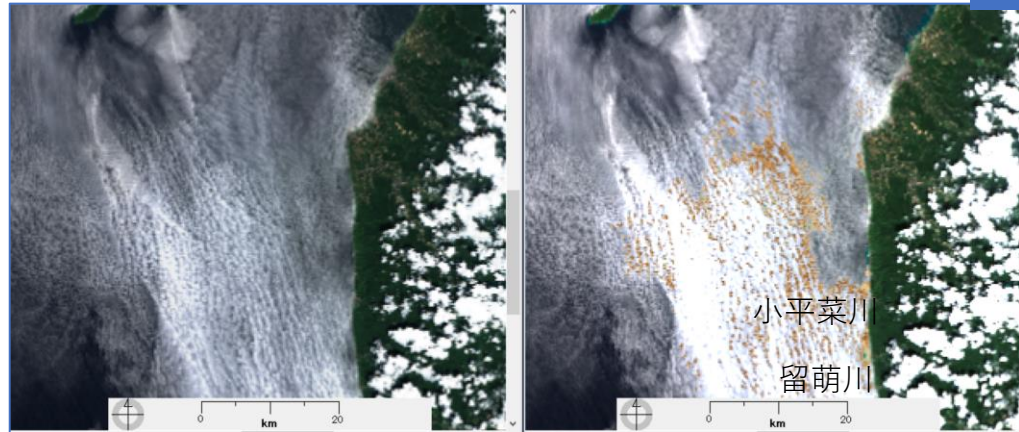


大雨の後河口の様子が観測されても、雲により把握できないことが多いようです。
この頁の4か所の観測では、河口を中心に、砂や泥の広がっている場合と、葉緑素を含む浮遊物を含む場合とがあるようです。



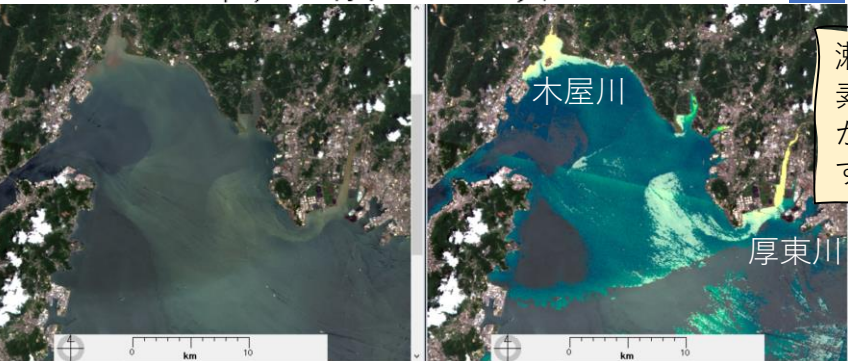
2022-07-06 トゥルーカラー ユリシス

D

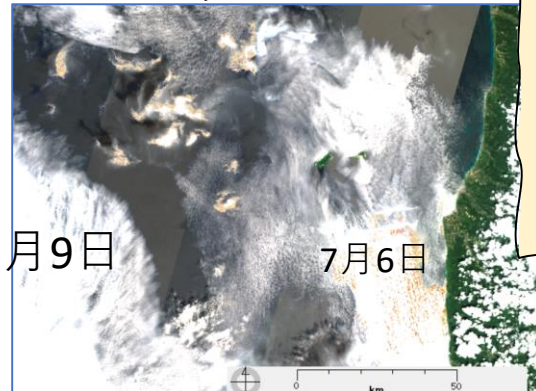


B

2022-07-20 トゥルーカラー ユリシス



ユリシス



留萌の西の日本海に砂や泥の浮遊物はその後も広がり7月9日には、留萌から100kmも広がっています。
7月6日と7月9日の観測データを一緒にしました。